

令和5年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	14	議席 番号	21	氏名	小松 快造 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1	ふじのくにエネルギー総合戦略について			<p>静岡県はふじのくにエネルギー総合戦略において、再生可能エネルギー等の最大限の導入促進や脱炭素化に合わせた産業の振興など、4つの戦略を掲げている。そこで、本市としての対応や関わりについて伺う。</p> <p>(1) 富士宮市の再生可能エネルギーの現状について伺う。</p> <p>① 太陽光発電について。</p> <p>ア 2021年に太陽光発電は、FIT（固定価格買取制度）が適用されなくなったが、その後新規参入する企業または個人について、どのような変化が見られるのか伺う。</p> <p>イ メガソーラーの建設をめぐっては全国はもとより、県内では伊豆地域を中心に景観の悪化や騒音及び災害への懸念から住民の反対運動が顕在化している。静岡県においては、太陽光発電設備の適正導入を図るため、モデルガイドラインを作成した。当市の北部地域においては、富士宮市富士山景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例によって規制されているが、今後の対応について伺う。</p> <p>② 小水力発電について。静岡県は、小水力発電に必要な落差や水量などを満たす適地の確保が難しいとの見方をされているが、本市にはまだまだ好立地な場所がある。市はどのように捉えているのか。また、静岡県の補助金制度をどのように考えているのか伺う。</p> <p>③ バイオマス発電について。バイオマス発電は、バイオマス燃料の調達が課題であるが、新たな燃料について考えられるのか伺う。</p> <p>(2) 電気自動車（EV）充電スタンドについて。EVの普及に伴い必要となる充電スタンドについて、再生可能エネルギーを発電する事業者や、環境問題に大きな影響のある自動車業界等が設置することはできないか。また、その場合、設置に当たり必要な手続き及び法的な整備が必要か伺う。</p> <p>(3) 経済と環境の好循環について（地域循環共生圏）。</p> <p>① カーボンニュートラルへの対応を新たな経済成長のチャンスと捉え、エネルギー産業の振興を通じた経済の発展へつなげるためには、市はどのように考えるのか伺う。</p> <p>② 再生可能エネルギーの導入拡大とエネルギーの地産地消の推進により、一極集中型のエネルギー供給体制から災害に強い小規模分散型の供給体制への変換が必要と考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>③ カーボンニュートラルの達成には、徹底した省エネルギーの取組やライフスタイルの変革など、市民の協力が不可欠と考えるが、市は市民にどのように周知し、何を求めるのか伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長

発言 順序	14	議席 番号	21	氏名	小松快造 議員	2/2
発言項目		要 旨				答弁者
2	令和4年度全国体力テストについて	<p>令和4年度全国体力テストの結果について、新型コロナウイルス感染拡大後、児童生徒の体力低下が鮮明になったと新聞等に発表された。新型コロナウイルス感染症の影響による運動機会の減少など、生活習慣の変化により肥満の児童生徒の割合が増えているようである。そこで以下伺う。</p> <p>(1) 富士宮市の児童生徒のテスト結果は、いかがだったのか伺う。</p> <p>(2) 体力向上に向けてどのような指導を行うのか伺う。</p> <p>(3) スポーツ少年団の活動状況について伺う。</p>				市長 教育長 関係部長
3	全ての自転車利用者へのヘルメット着用努力義務について	<p>(1) 市内において自転車関係する交通事故は令和3年度には何件あったのか。また、事故の要因はどのようなことがあるのか伺う。</p> <p>(2) 子どもたちへのヘルメット着用の指導はどのようにするのか。また、保護者との連携と共通認識はどのようにするのか伺う。</p> <p>(3) 各小学校で自転車教室が開催されているが、その際に行う模擬事故に対しての子どもたちの反応はいかがか伺う。</p> <p>(4) 市内主要道路にブルーの矢印マークがあるが、どのように理解したらよいのか伺う。</p>				市長 教育長 関係部長